

# 建設業の現状と展望、建設業の魅力

鹿島建設(株)東京建築支店  
八隅 竹水

# 目次

## 1) 現状と展望

- ・どんな人がたずさわるか 何に注意しながら造るか
- ・現状のグラフ
- ・最近の動向

## 2) 魅力について

- ・私の担当現場
- ・物造りの楽しさ
- ・最近の作業環境

# ・どんな人が建設業にたずさわるか？

- ・事業主(注文者、施主、テナント等)
- ・官公庁担当者(国土交通省・厚生労働省・都道府県等)
- ・設計者(構造、設備、意匠、外構)監理者
- ・施工会社(総合建設業・専門工事業等)
- ・部材、材料製作会社(鉄骨、仕上げ材等)検査者等

# 工種別作業員一覧(主な作業)

- 1) 杭工事-重機運転士・杭工
- 2) 土工事-重機運転士・土工・山留工
- 3) 躯体工事-型枠大工・鉄筋工・鳶工・コンクリート圧送工・ボルト本締め工
- 4) 設備工事-電工・ダクト工・衛生工
- 5) 仕上げ工事-内装工・ガラス工・サッシュ工
- 6) 土木工事-シールド工・潜函工

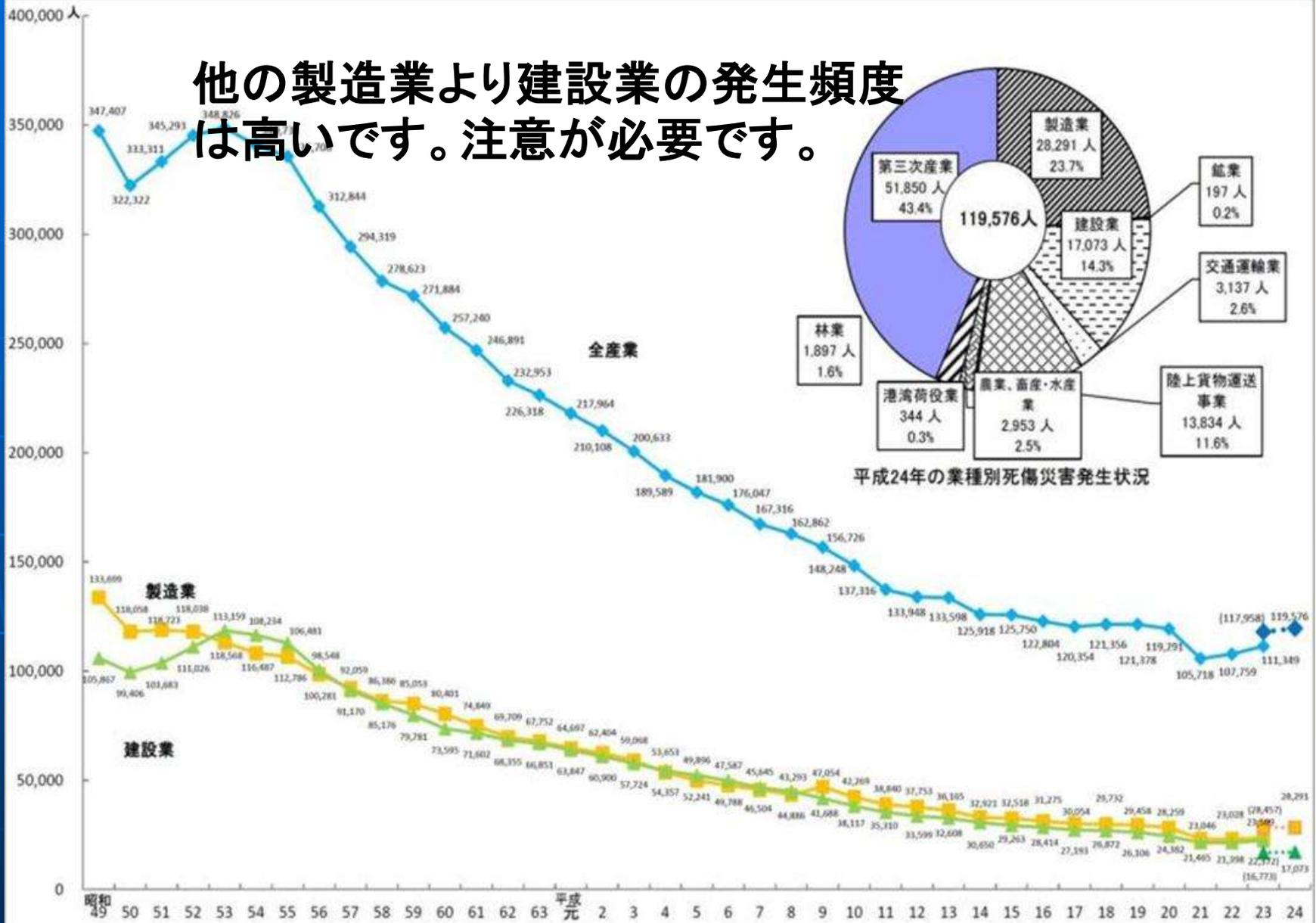
建設現場は色々な方が協力して造り上げます

# ・何に注意しながら造るか？

- ・品質（耐久性、機能性、デザイン性、法規等）
- ・コスト（決められた予算内を目指す）
- ・工期（決められた期日まで）
- ・安全（事故や災害が発生しないように）
- ・環境（地球資源の有効活用、不法投棄防止）

すべてに気を配りながら造る必要があります

他の製造業より建設業の発生頻度は高いです。注意が必要です。



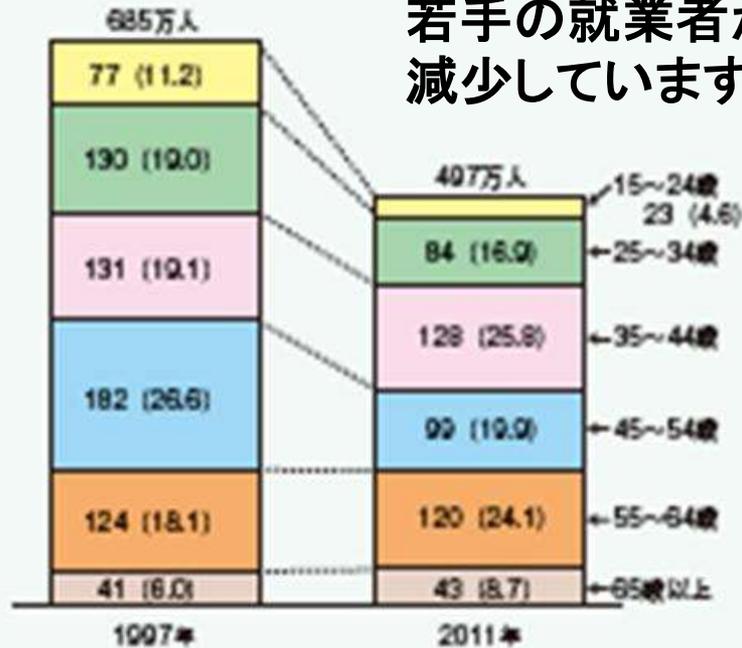
平成23年までは労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非通)より作成  
平成24年は労働者死傷病報告より作成

図2 死傷災害発生状況の推移

※1 休業4日以上の死傷者数  
※2 平成23年は東日本大震災を直接の原因とする死傷者を除いた数

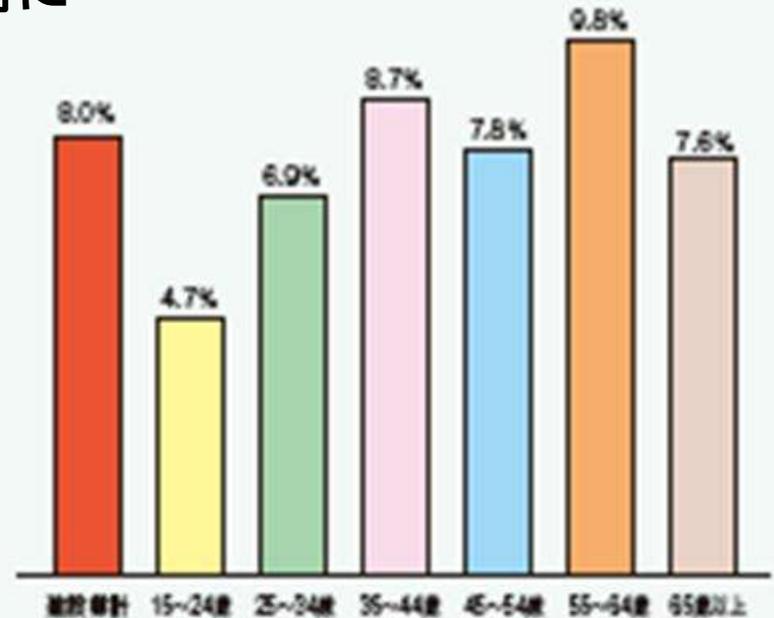
## 》 就業者の高齢化

建設業就業者数の年齢階層別推移



若手の就業者が特に減少しています。

全産業就業者中に占める建設業就業者の割合 (2011年)



(注) 1. ( ) 内は構成比  
2. 2011年の値は口頭推計をもち。

資料出所：総務省「労働力調査」

建設業就業者数を年齢階層別にみると、若年層の減少が目立っており、相対的に高齢層の割合が高まっている。このような高齢化の傾向は、他産業と比べても顕著である。就業者の高齢化は産業活力の維持、強化の点で大きな問題であり、また、団塊世代の多数の技術者、熟練技能者の退職が進行しつつある中で、建設生産システムの中核をなす技術、技能の継承が当面の大きな課題である。

# 魅力ある建設産業に向けての環境整備

国土交通省では設計労務単価の引き上げ、  
業界団体でも技能労働者の待遇改善、適正な  
賃金の確保や保険加入の徹底をはかり、魅力  
ある産業を目指しています

若手の作業員の就業を官民協力して実施して  
います

# 防災・減災のまちづくり 魅力ある都市づくり

自然災害対策

社会基盤の新設、維持管理、耐震化

日本経済の成長を見据えた都市づくり等

今後も建設業は期待されています



**皆で協力して造りました 完成時の喜びは格別です**

# 建設業の魅力は物造りの楽しさ

- ・スケールの大きな物を造る  
(完成品が後世まで残る)
- ・皆で協力して造る  
(達成感・充実感を共有出来る)

# 最近の現場では 作業環境の 整備が進んでいます

危険な作業・重労働の減少  
作業の簡素化  
作業のビジュアル化  
休憩室等の環境整備

# 危険な作業・重労働の減少



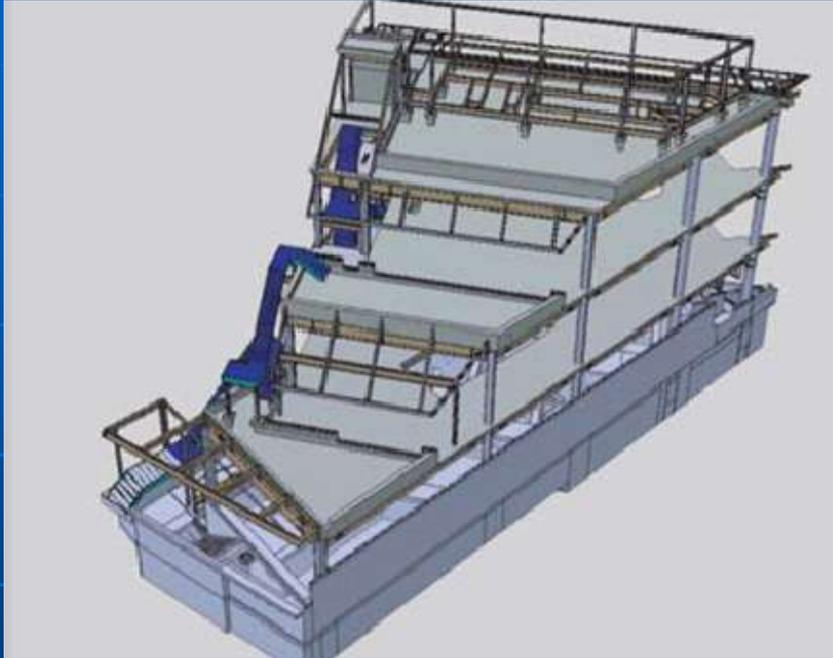
工場で作成した部材の取付等で危険な作業の減少や重機を利用する事により重い物の取付作業を低減しています

# 作業の簡素化



工場製品の取付や混ぜ合わせ済の材料の使用等により作業が簡素化しています

# 作業のビジュアル化



**3Dキヤドを利用し建設物のイメージを理解し易くしたり、  
テレビモニターを利用して日々の現場内の情報を分かり  
やすく伝達しています**

# 休憩室等の整備



現場内外を整備し明るく働き易い職場を目指しています